

かわみなみ 議会だより



60周年記念式典



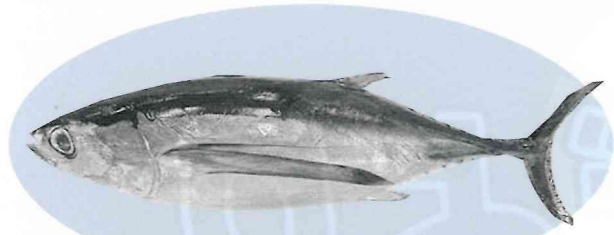
主な内容

- 一般会計・特別会計……………2～3
- 常任委員会報告……………4～7
- 議員の判断は・人事案件……………8～9
- 聞いてみました……………10
- 一般質問……………11～15
- 編集後記……………16

No.100

平成25年(2013年)

5月1日発行



川南町の魚 ビンチョウマグロ

国・県 支出金は前年比 4億3,350万円増

歳入について前年度と比較すると、国・県支出金を除けば、町税で1,600万円の増加があるだけですべて同額程度か減額となっている。

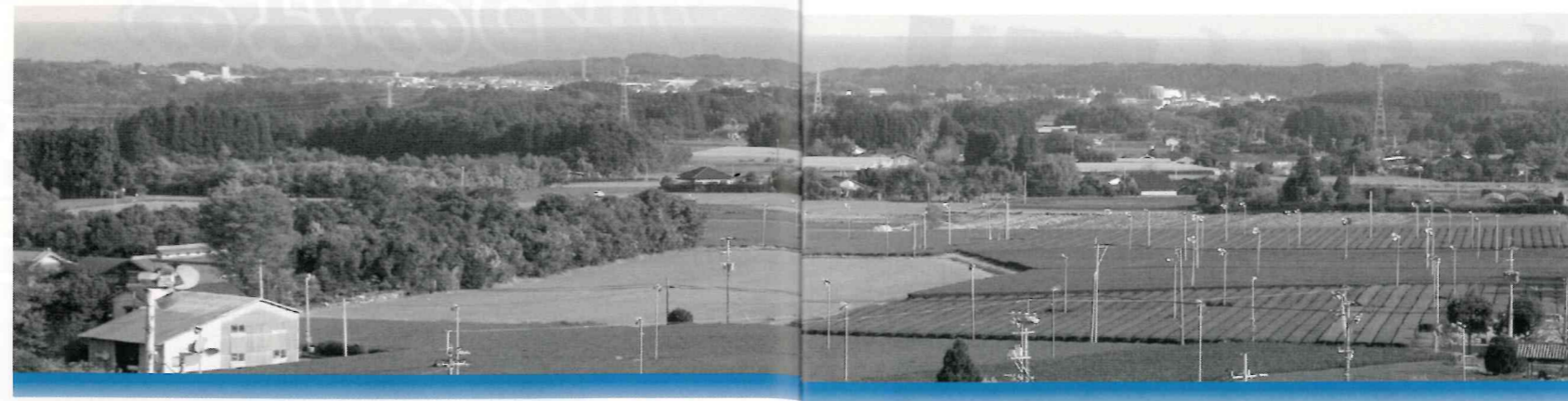
前年度より1億600万円減額して予算化された町債3億5,500万円は、国営土地改良事業、道路新設改良、消防施設などに対応する。

国・県支出金は前年比4億3,350万円増となり、14億3,500万円となった。その内65%が民生費の財源になるが、増額分の内2億8,000万円が口蹄疫埋却地整備(6頁)に活用される。

歳出では、前年度より民生費が3億円、農水費が1億1,000万円増えているが、総務費で2億4,000万円、土木費で1億1,000万円減少している。



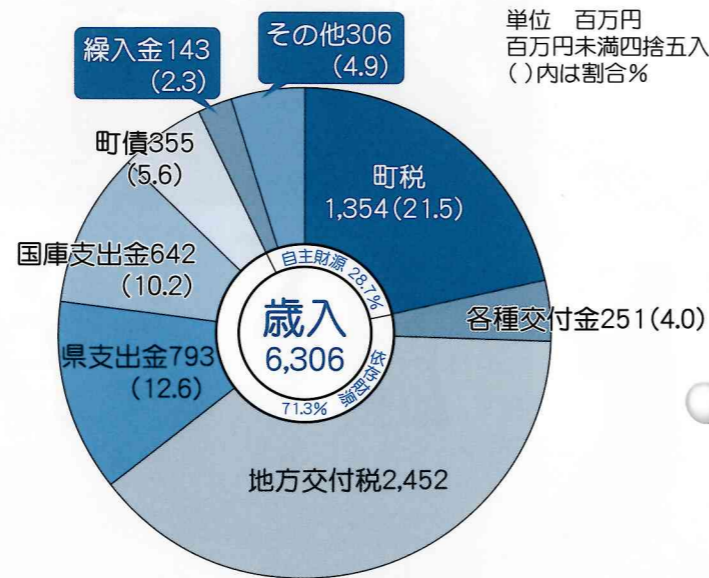
口蹄疫埋却地



平成25年度一般会計予算 6,306,000,000円

平成25年第1回川南町議会で63億600万円の一般会計予算、特別会計予算及び水道事業会計予算が承認可決された。一般会計予算の内訳は下のグラフのとおりである。前年度当初予算に

比べ0.6%の増となっている。自主財源は28.7%である。
また新たに11条例が制定され、3条例の一部改正も承認された。



防災対策



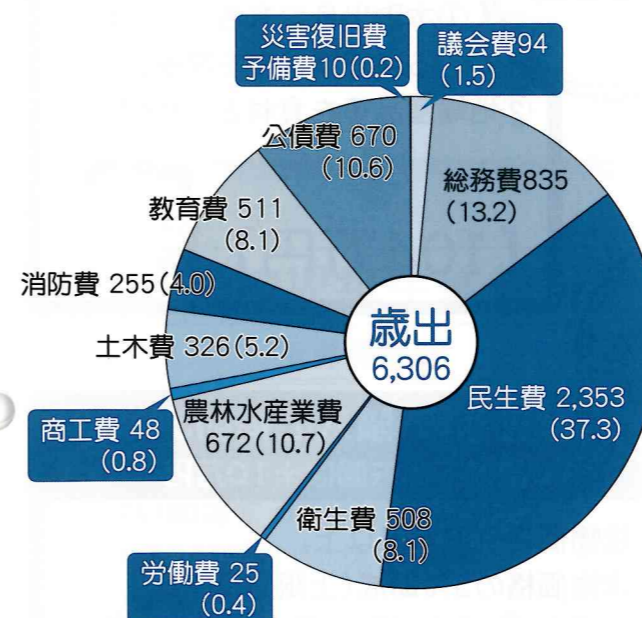
防災拠点としての役場庁舎の耐震対策に着手。川南漁港施設に耐震・耐津波の機能診断を実施(6頁)



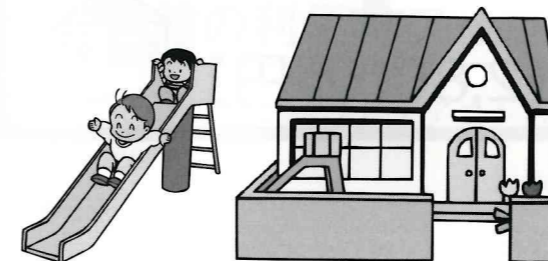
川南町の花 酔芙蓉

今がチャンス!!

人口問題研究所の推計によると2040年川南町の人口は13,400人、高齢化率36.8%とされているが、このことは課題とされていたことである。その対策の一つとして定住促進事業(4頁)が実施される。



民営保育所を新設



3つの保育所を統合した民営保育所が平成26年4月に山本小学校敷地内に新設される。

平成25年度特別会計・水道事業会計予算

事業名	25年度予算	前年度増減
国民健康保険事業	2,597,799	△20,651
漁業集落排水事業	26,130	593
営農飲雑用水	10,513	456
下水道事業	102,944	△20,274
介護認定審査会	4,415	5
介護保険	1,238,087	59,164
後期高齢者医療	147,015	△8,455

事業名	収入	支出
水道事業会計	347,448	319,397

川南に住もう!

定住促進事業 3,164万円

【目的】…田舎暮らしや自然志向の中で都会から田舎に移り住む人が増えている。本町は風水害・地震・津波にも強い土地である事に加え、食材の宝庫でもある。こういった本町の環境を積極的に発信し、定住化を図り活力ある地域づくりを目指す

1 都市部 PR事業

川南の良さをPR

東京で開催される県主催の移住相談会に参加。

【804,000円】

2 婚活事業

出会いの場を作ります

- ①本町出身の有名シェフによる料理講習会を開催。
- ②地場産品等を食材としPRする。

【104万円】

3 定住促進持家 取得助成事業

家を新築・購入に補助50万円 40歳以下の夫婦は+10万円

- ①建物価格500万円以上。
- ②建物価格の5%助成(上限50万円)。
- ③夫婦とも40歳以下の若者夫婦には別途10万円を加算、商工会商品券で支給。

【2,800万円】

4 新婚家庭 家賃助成

新婚さん 5,000円×36ヶ月

- ①実質家賃4万円以上の新婚世帯が対象。
- ②夫婦とも40歳以下。
- ③月5,000円を3年間助成する。

【180万円】

詳細は総合政策課へ TEL 27-8002

暮らしやすい生活の 充実は一歩ずつ

川南保育園建設へ

国・県・町からも補助

- ①敷地整備…300万円
山本小学校内の建設用地整備する。
- ②総事業費…1億8,900万円
- ③建設補助金…1億2,675万円
補助金の内訳
2/4→国・県 1/4→町

野田原保育所
↓
川南保育園へ

◆川南保育園…野田原、記念館・山本が統合され、新しく作られる保育園。野田原は今年度から川南保育園となっている。

不登校児童生徒対策

指導員配置

- ①教育支援指導員を配置…120万円
- ◆不登校児童に対し個人個人と向かい合い助言する指導員を1名配置。
- ◆平成24年度は全体で14名の児童生徒がいた。



別館の利便性アップ

- 6別館の和室にコイン式エアコン設置…160万円
- ◆6別館は…
中央別館・川南別館・東別館
山本別館・多賀別館・通山別館



川南町の保育サービスは

- ①延長保育…1,455万円
7時から18時までの11時間にプラス30分延長
【実施保育所】…十文字・川南・川南東
【保護者負担金】
1日100円(上限1,000円)
川南東は負担ゼロ
- ②休日保育…267万円
日曜保育業務
【実施保育所】…十文字・川南
【保護者負担金】
1回1,500円(弁当・水筒)
- ③一時預かり…156万円
園児以外を一時的に預かる
【実施保育所】
十文字・川南東・川南・中央
【保護者負担金】
1日1,600円から1,800円



トントントーム補修工事

まだまだ必要・安心と安全

- ①外階段花壇下に高圧電気室があり雨漏りする為、補修工事及びホール音響操作装置を更新…1,080万円
- ②ドーム入口周辺の通路のレンガ床に苔がはえ雨天時に滑る為、苔を取り除く工事をするもの…130万円

川南の整備は

埋却地を農地に

埋却地整備

2億8,000万円

- ①口蹄疫の埋却地整備に着手し、今年度は20%の内60%が対象になる。
- ②3か年計画で実施する。
- ③全額、国の補助金で行なわれる。

安全で走りやすい道路へ

町道改良工事

1億900万円

- ①平鈴・南通山線(染ヶ丘付近)
- ②中里・野田原線(祝子塚)
- ③鬼ヶ久保・十文字線(多賀小学校南)
- ④垂門橋補強工事

漁業振興の為に

川南漁港整備

3,600万円

- ①漁港第2北防波堤整備…1,500万円
- ②防砂堤の消波・被覆ブロック据付。漁港施設における耐震・耐津波の機能診断…2,100万円

(平成24年度補正)

◆上記事業は国の事業で町が1/10の負担であり総事業費は、3億6,000万円になる

◆広域水産物供給基盤事業により川南漁港の整備も進んできている。平成14年度から平成24年度まで総額72億1,742万円が使われているが、この事業は平成27年度まで計画されている。(町はその1/10を負担している)

整備前



整備後



田んぼの水を守ります

水田の用水路整備

870万円

- ①川南原土地改良区の用水路で劣化の著しい箇所を改修工事…600m計画

町水道の石綿管入れ替え等

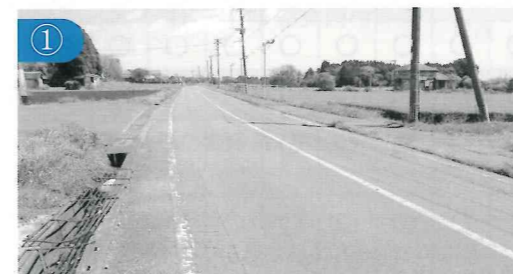
1億800万円

- ①耐震性の低い老朽配水管、石綿管の布設替工事を6地区で計画
- ②西の別府浄水場の非常用発電機の更新工事

川南にとってのアベノミクスか？

平成24年度 補正予算

平成25年3月に入り、2億1,163万円予算が追加された。歳入内訳の一部は国から土木関係で7,934万円の補助金、町債5,280万円事業を行う。歳出として舗装打換え工事を1億2,900万円かけ5路線3.6kmを6割の補助を受けて行う。土木工事はこのような国の事業と併せて行い町の事業活性化につなげる。



防災・安全社会資本整備事業…1億2,923万円

- ①毘沙門・名貫線舗装打換え工事→L=1,500m
- ②松原・通山線舗装打換え工事→L=700m
- ③垂門・松原線舗装打換え工事→L=600m
- ④二ツ橋・唐瀬線舗装打換え工事→L=500m
- ⑤中里・野田原線舗装打換え工事→L=300m

経年劣化等によるひび割れ、わだち掘れが著しいことから、この路線が対象となった。



揚水場のポンプ改修に1,000万円

川南原土地改良区の十文字、下原揚水場ポンプ補機類改修工事を計画。農業水利施設保全合理化事業で補助率は1/2

道路新設改良費…5,000万円減額

この減額は工場北線(宮崎県農協果汁北側)、道路改良工事で国道10号線の右折車線新設工事を計画していたが、国土交通省との協議により設置が不要となり5,000万円の減額となった。

議員の判断は…

○は賛成、×は反対、議は議長	結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
		中津克司	河野幸夫	濱本義則	川上昇	林光政	川越忠明	内藤逸子	児玉助壽	米山知子	税田榮	徳弘美津子	竹本修	山下壽
平成25年3月定例会議案														
平成24年度川南町一般会計補正予算(第5号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
平成24年度川南町国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
平成24年度川南町漁業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
平成24年度川南町下水道事業特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
平成24年度川南町介護保険特別会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
平成24年度川南町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
平成24年度川南町水道事業会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
平成24年度川南町一般会計補正予算(第6号)	可決	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	議
川南町介護保険法に基づく指定地域密着型介護老人福祉施設の指定に関する入所定員等に関する条例を定めるについて	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
川南町介護保険法に基づく指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に係る基準に関する条例を定めるについて	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
川南町介護保険法に基づく指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に係る基準に関する条例を定めるについて	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
川南町営住宅等の整備基準に関する条例を定めるについて	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
川南町町道の構造の技術的基準を定める条例を定めるについて	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
川南町町道の道路標識の寸法を定める条例を定めるについて	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
川南町準用河川に係る河川管理施設等の構造の技術的基準を定める条例を定めるについて	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
川南町移動等円滑化のために必要な町道の構造に関する基準を定める条例を定めるについて	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
川南町都市公園、公園施設及び特定公園施設等の設置の基準を定める条例を定めるについて	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
川南町町営住宅管理条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
川南町新型インフルエンザ等対策本部条例を定めるについて	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
川南町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
川南町条例における用字、用語等の整備に関する条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
川南町重度障害者医療費助成に関する条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
財産(土地)の無償貸付について(修正案)	可決	○	○	○	×	○	×	○	×	○	×	○	○	議
西都児湯障害認定審査会共同設置規約の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
平成25年度川南町一般会計予算	可決	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	議
平成25年度川南町国民健康保険事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議

○は賛成、×は反対、議は議長	結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
		中津克司	河野幸夫	濱本義則	川上昇	林光政	川越忠明	内藤逸子	児玉助壽	米山知子	税田榮	徳弘美津子	竹本修	山下壽
平成25年3月定例会議案														
平成25年度川南町漁業集落排水事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
平成25年度川南町営農飲雑用水事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
平成25年度川南町下水道事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
平成25年度川南町介護認定審査会特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
平成25年度川南町介護保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
平成25年度川南町後期高齢者医療特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
平成25年度川南町水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
川南町学校給食共同調理場における給食調理等業務の委託契約締結について	可決	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	議
川南町議会委員会条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
地球温暖化対策を推進するための森林整備等に係る財源の確保を求める意見書について	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議

「新設保育所用土地の無償貸付について」

貸付期間5年を3年へ修正し可決

原案は、今年度から保育所建設用地に山本小学校敷地の一部を5年間無償で貸し付けようとするものである。総務常任委員会に付託され、賛成多数で5年を3年間に修正することになった。

委員会で求めた資料の一つが近隣町の状況の確認である。結果は近隣町は全て3年間であった。委員会では
 ①なぜ川南だけ5年なのか。その根拠が明確でない。
 ②無償貸付期間を短縮することによって町の行財政改革の姿勢を示せるのではないかと。
 ③今回の事案に関しては、すでに平成25年度1年間の

無償貸付が決定している。

など期間短縮論が出る一方、

①本事案は受託法人も応分の投資をする。
 ②期間を延長することで町の保育行政への取組みがアピール出来るのではないかと。
 などの反論があった。

本会議において、川南町の民営化に対する姿勢はここまで5年間を貫いてきたし議会も認めてきた。今になって3年間に短縮するのは理解できないとの反対討論があった。

人事異動



中村 守

代表監査委員

代表監査委員 三角巖氏が任期満了となり、中村守氏を選任することに同意。



吉田 喜久吉

議会事務局長

この度、定期人事異動で議会事務局に配属されました。議会運営等につきましては初めての経験ですが、議員さんの力になれるよう一歩ずつ前に進んでいきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

吉田 一二六

1年間大変お世話になりました。本年度から2常任委員会となりますが、今後も議会改革を推進しながらより良い川南町議会を目指してください。



聞いてみました

～当初予算と補正予算より～

Q スポーツランド構想は体育協会等の企画と同じである。従来の分館対抗行事などの事業を整備・検証するべきでは？

A 【町長】
スポーツ振興、町内外交流人口の増加経済の活性化を目指す。合宿に対する助成、スポーツが経済に結び付く様にした。さわやかスポーツ大会は現状役員だけがやっているの見直したい。新たな町制施行ロードレースをしたい。多目的運動場も合間をぬって使われている。フットサル等大会の計画もある。
【教育長】
地域型総合スポーツクラブ申請が間に合わなかった。平成26年度に申請したい。

Q 子宮頸がん促進1,600万円減額であるが、全国で年間3,500人亡くなっている。接種率が低い啓蒙の在り方に問題は？実績を上げている所を検証すべきでは？

A 【健康福祉課長】
学校を通して文書を発行して保護者に促すが、様々な理由により摂取率は伸びない。平成25年度からは定期接種になり、中学1年から高校2年生に拡大する。今後恒久化を目指す。

Q 健康増進事業費668万円減額である。受診率が上がらなかったのか？減額しなけらばならなかったか？受診勧奨したか？

A 【健康福祉課長】
保健師が電話連絡等していたが受診率は上げられなかった。啓蒙に加え情報伝達の方法を強化し、町民活動に取り組みたい。

Q えひめAI予算は5万円である、畜産農家実証は？継続していくべきでは？

A 【環境対策課長】
緊急雇用予算がなく、5万円の材料費で家庭普及を図りたい。畜産農家の実証は年度終了後に実績取りまとめる。

Q 放課後子供プラン事業の学校との連携は

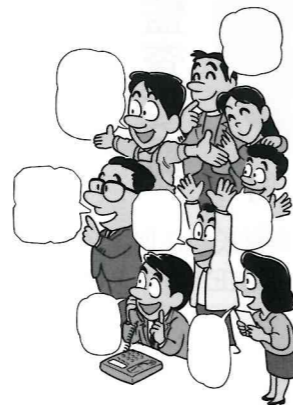
A 【教育長】
小学3～6年生を対象
平成23年度は30名、平成24年度は45人で様々な体験学習を各別館でした。学校との連携を取りたい。

Q 体協、少年団の予算が増えていない。

A 【町長】
大いに利用してもらいたい。PR誘致してほしい、予算の底上げをしていきたい

Q 国民健康保険で基金3,000万円で残がない

A 【町長】
今後、保険税の見直しが必要になる。



一般質問 10名の議員がこんな質問をしました



郡内最低、最下位の投票率について

中津 克司

【問一】

昨年12月に実施された衆議院議員総選挙の投票率が56.61%と郡内最低だった。そこで国政選挙(衆参両院)、県知事選挙等、過去2回の投票率を調べたところ、いずれも郡内最低、最下位で推移している。特に前回の県知事選挙では45.11%と50%を割り込んだ状況である。この現実を知らない町民の方も多数いる。選挙条件は他町村と同じであり、このまま放置することは許されない。この現状、原因をどう考えるか？どのような対策、対応を執るか？

【答一：選挙管理委員会委員長】

民主主義の原点を脅かす問題、重く受け止め対策が必要と考える。期日前投票も取り入れているが、投票が面倒と思う人が多い。広報、啓発活動にも限界があるが投票環境の整備をし、啓発活動の頻度を上げる。また、指摘の通り他町村に先駆け、小学校等で出前授業を実施する。即改善には繋がらないが関心を持ち、意識付

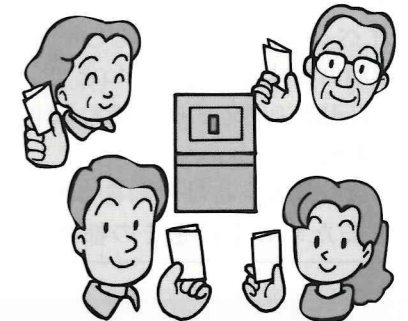
け、動機付けになればと考える。家で両親と選挙の話をする事での投票行動も期待出来る。将来を見据えた地道な啓蒙活動が大事で、最下位の汚名返上に努力したい。

【問二】

町長任期の半分を経過しようとしている。町民との約束である公約の進捗状況をどう自己評価しているか？今後の取り組みは？

【答二：町長】

全てにおいて取り組み始め、議論できる態勢ができた。中身については半分より上の6割程度出来ていると認識している。厳しいのはどこも同じであり、今後とも出来る事から始める。



川南町の人口を増やす、その中で出生率を上げるための取り組みを考えているか？

米山 知子

【問一】

全国的に出生率の低下が言われ、川南も例外ではない。出生率を上げるには独自の支援策をとっている自治体も見られるが、川南町の考えは？

【答一：町長】

子育てできる環境をいかに整えていくか。働きながら子育てできる環境の改善に取り組んでいきたい。平成25年度は定住促進事業に取り組み、新婚家庭への家賃補助も行う。また、婚活にも取り組む。予算をみながら、総合的な判断として人口を増やしたい。

現在の末端行政組織で地域のつながりや高齢世帯を守るか？
末端行政組織を作り直し地域のつながりを取り戻そう

【問二】

東北大震災以来、地域のつながりが叫ばれている。振興班未加入世帯の解消を目的に、平成17年度に区長制度を導入し、毎年区長一人当たり36万円を支払って

いる。8年を経過したが、当初の目的の振興班未加入者は減るどころか増え続け、全世帯の3割以上になっている。

さらに、末端行政連絡組織として、加入は任意である分館と振興班が使われているが、町内振興班263のうち43が分館に入っていない。振興班未加入世帯や分館未加入世帯への行政連絡はどのように行われているのか？

このような現状で、地域のつながりが保てるのか？さらに、高齢などの理由で分館から抜けた振興班や振興班未加入世帯を地域防災上、どのように取りあつかっていくつもりか？

【答二：町長】

区長制度が当初の目的を果たしていない事、分館に入っていない振興班があることなど現状に問題がある事は認識している。これらの問題点を踏まえ、防災、減災のまちづくりを基本として、末端行政組織については、役場内の機構改革を含め、平成25年度の重要な検討課題として取り組んでいきたい。



指定管理者制度の導入について

徳弘 美津子

【問一】

民間業者の経営ノウハウを活かすとされる指定管理者制度として、各種施設について、川南町は新たな計画があるのか？

【答一：町長】

現在文化ホール、図書館、各スポーツ施設など検討課題。目標年度は具体的には無い。基本的には公募で行うが公募がない場合は指名する。

【問二】

町政施行60周年記念式典の町民参加が少なかった。町民に声のかけ方に問題はなかったか？また、他の町主催行事の動員方法はどのように考えるか？

【答二：町長】

60周年はイベントではなく式典である。文化ホールですること満席にすることがいいと思うが前向きに簡素化した。今回は50周年式典の後の10年間の表彰を中心に簡素化した。

これからの取り組み方法は目的をつたえ周知の方法を目的を達するための手段をその都度やっていく

い。小さなグループには参加するなど今後の課題。町民が参加意識を持っていく。

【問三】

安全衛生委員会が設置されているが、近年は自殺対策について国も予算化して各自治体としての取り組みを図っており、心の健康が様々な理由により妨げられ、長期休暇になっていたり退職をする状況下は社会問題にさえなり、指導の困難さをいわれている。

児湯郡内で発生した自治体が職員自殺に対して和解金を支払った事を受け、何らかの話し合いが行なわれたか？

パワーハラスメントを含みこの委員会ではどのように取組まれているのか。

【答三：町長】

安全衛生委員会は13名で年2回開催されている。和解金支払いの事例については特別な対応はしていない。パワーハラスメントは、受け取り方、言い方、環境によっては可能性を秘めているので心のケアは大切である。現在はないが今後環境作りを大切に。可能性は潜んでいる。

【答三：副町長】

心の問題は相談しにくい。まず身近な係り内で掌握してほしい。共済組合にメンタルヘルスの窓口がある。



再生可能エネルギーの導入と雇用の創出について

内藤 逸子

【問一】

太陽光発電事業の動向、木質バイオマス事業計画は脱原発の課題として重要だが、農振地域の規制、一方耕作放棄地の活用など町としての対策が求められる。木質バイオマスは不良材の活用もあるが乱伐の懸念もある。

【答一：町長】

太陽光発電事業は4ヶ所が工事中で町内8ヶ所に予定されている。木質バイオマス発電事業は県とのヒヤリング中で総合的判断が必要である。

山本小校庭への民営保育所設置計画

【問二】

①三保育所を無用にした上、山本小校庭への保育園の設置は、学校教育や地域に開かれた運動場の機能保持等が懸念される。

②保育所の小学校内設置でゼロオから小学校卒業まで一貫的な保育と教育を行うと言うが、大多数の卒園児は山本小ではなく川南小に入学する。実情を無視

した考えだ。

③予定事業者が山本地区全世帯に配布している計画図面では、中庭の限られた位置に複合施設計画だが、本町の緊急な政策課題なのか。

④小学校の1,700㎡の用地で120名定員の保育が可能なら、現保育所の活用又は学校用地を最小限にとどめ、民有地の取得等再検討すべきだ

【答二：町長】

山本小設置基準は四倍以上の広さで支障はない。現在の保育所は老朽化していて使えない。

鶏糞発電事業と悪臭問題

【問三】

①関連企業と確約書の厳守。鶏糞はすべて発電原料に変わり発酵施設の滞貨はないはずだが、今なお続いている。関連企業への監督指導はMBRにある。

②鶏糞発電、炭化処理以前の悪臭原因根絶の企業責任はどう果たされているのか。

【答三：町長】

MBRはいろんな意味で川南町に多大な貢献をしている。臭いの対策については引き続き指導する。



職員の教育について

林 光政

【問一】

全職員にどのような教育指導をなされているのか、特に飲酒について。

【答一：町長】

今回の不祥事に関しては弁解の余地もない。常日頃より職員には、階層別研修等を通じて、飲酒運転等も含めて事あるごとに指導しているところである。これからどう対処するか職員からもアンケート等とっている。これからの課題としてとらえ指導して行く。

【答一：総務課長】

防止策として交通安全講習会を実施して職員の意識

付けを行う。又全職員から今回の事件を受けて飲酒運転防止の為の、取り組み等を募集して意見を聞いている。

【問二】

分限懲戒委員会の構成と管理監督者の処分について。

【答二：町長】

分限委員会の構成については、副町長を座長に総務課長、総務課長補佐、総務係長、職員組合より代表2名、計6名の委員会構成である。

事案等に関しては、今迄の事例等を参考にしながら指針に照らしあわせながら判断を行っている。

【答二：副町長】

委員会の構成又指針等の内容について、必要があれば見直す。副町長は特別職のため譴責処分、各職員に対しては指針に準じて処分を行った。



行政改革(機構改革)

濱本 義則

【問一】

平成25年度末に予定している機構改革の目的と期待する効果は？

【答一：町長】

住民サービスの向上、行政運営の効率化が目的であり、課の統廃合による機能強化を目指す。

【問二】

広域行政、道州制をも視野に入れての実施か？

【答二：町長】

これから考えられる可能性を含めて今回の機構改革は役場内の機構改革だ。

【問三】

組織で一番大事なものは何か？

【答三：町長】

人だと思ふ。

【問四】

行動計画の人事評価制度を機構改革にどう活かすか？縦割り行政から網の目行政の組織への改革をお願いしたい。

【答四：町長】

人事基本方針に基づき、行うよう進めている。最終的には組織が良い形で機能するような適材適所を目指したい。

まちづくり交付金事業(中心市街地活性化)

【問五】

まちづくり交付金事業の目的は何で、どのようなことに取組んできたか？

【答五：町長】

すばらしいまちをつくることだと認識している。平成20年からトロン中心街の道路整備、運動公園の整備に取組んできた。

【問六】

途中よりスポーツランド構想の考えが浮上した感があるが、中心市街地活性化法に基づく事業の継承ではなかったのか？またスポーツランド構想と中心市街地の活性化との関連は？

【答六：町長】

今まで取組んできた成果をいかに運用するかが重要な課題で、現在それに取組んでいる。交流人口を増やし、それにより中心商店街の経済的効果をもたらす。

【問七】

中心市街地活性化に継続的に取組む気持ちはないか？

【答七：町長】

今後も取組みたい。

町政運営方針より・医商連携とは

【問八】

町政運営方針にうたわれている医商連携のまちづくりとは？

【答八：町長】

高齢者が元気になることが地域の活性化になり、商店街の活性化に繋がるという理論のもとでの取組みである。厚労省のモデル地区をも考えながら準備を進めている。

PM2.5対策について

【問九】

町のPM2.5対応策は？

【答九：町長】

現在観測地点が延岡保健所と都城の2か所しかない。町としては正確な数値を把握することであり他行政との連携で対応したい。

【問十】

観測数値を把握する手段は？危険な数値が観測された場合の町民への周知は？

【答十：環境対策課長】

一定の数値が観測された場合は、県から情報が流れてくる。その場合防災無線で町民へ伝達する。

【問十一】

その場合町民の取る行動のマニュアルはあるのか？学校、保育所等の対応について教育委員会等で検討したのか？危機管理はどろ縄ではいけないと思うが。

【答十一：教育長】

現在のところはしていない。

【答十一：町長】

緊急の場合スピード感をもって対応する。



懲戒処分について

川上 昇

【問一】
懲戒処分の基準について、非違行為の具体例まで記した細則の類はないのか？

【答一：町長】
「川南町職員の懲戒処分に関する指針」を平成18年10月に定めている。予想できる代表的な事例を選び、厳正にかつ公正に行うために示したものの。

【問二】
職員に対し、指針をどのように啓蒙・周知しているか？それぞれが、いつでも閲覧可能なのか？

【答二：総務課長】
各職員にメールで送信しているし、印刷した書類も配布している。いつでも閲覧可能である。

【問三】
1月の事案以降、職員に何を求めどんな対策を講じたか？

【答三：町長】
飲酒運転の撲滅は強く喚起していた。今回の事案も偶然ではない。強い気持ちで今後に向かうよう伝えた。

【答三：総務課長】
昨年、交通安全の講習会を行った。今後、毎年行うことにした。また、全職員から飲酒運転防止策について意

住民の行政参加について

【問四】
住民の行政参加についてどう考えているか？役場として住民サービスは大事なことだが。

【答四：町長】
住民の意識、町の連帯感を含めた上では非常に重要。今後自治体が目指す道は、自主的な自立できる経営感覚を持つこと。「協働」を持って色々な価値観の違うものを組み合わせ、いわゆる社会性事業を作り出すことが大事。

【答四：教育長】
分館等から様々な要望を出して欲しい。また、各分野でたけている方々に、学校で授業に入ってもらうことも考えている。

町の花・町の魚について

【問五】
町制施行20周年時に制定された町民憲章の一章を受けてのものと思うが、町の花および町の魚の指定に至った経緯は？また、今後の普及については？

【答五：町長】
そのものに付加価値をつけることは当然であり、総合的にこれから川南をPRする場合、町のシンボルとして取り扱って行く。

生じ、漁港整備の大型車両の運行が禁止されている。児童館南の避難路に点検調査費が計上されているが、耐震強化整備を前提にしたものなのか。

【答三：町長】
本年度調査点検、来年度予算で耐震補修の設計委託、その後に工事となる予定である。

【問四】
災害が起き、避難生活住民が発生すれば、緊急用生活物資が必要だ。その備蓄、常備等は。

【答四：町長】
毛布等は保管し、飲料水、食料品等は賞味期限がありその都度交換している。備蓄に関しては、来年度予算に計上していく。

【問五】
人的被害を最小限に抑えるには、迅速、且つ正確な情報伝達が必要不可欠である。本町の情報伝達システムの精度は。

【答五：町長】
いかに早く簡潔正確にを、大災害の教訓を基に国も取り組んでおり、本町においても、その都度新たなシステムを導入し、一早く情報伝達できるよう取り組んでいる。



防災減災等対策について

児玉 助壽

【問一】
県は、南海トラフト地震の規模をM7、津波の高さ16mと想定し、新たにハザードマップを作成し、ライフラインの耐震化対策の方向性を示しているが、町の対策は。

【答一：町長】
地域に沿った、町独自のハザードマップを作成し各世帯に配付する。

【問二】
町指定の避難所、避難路等については、耐震診断を行い、安心安全が確保できる様に施設整備を行うべきでは。

【答二：町長】
災害に対しての整備は、重要な課題である。避難所、避難路等については、一早く対応できる人員体制、ソフト、ハード面等にもおいても取り組んでいる。

【問三】
今回の補正予算で、道路側面に10ヶ所以上の亀裂が



町政運営方針について

竹本 修

町長の2年間を振り返ると事業への取り組みの相違、災害への消防団、行政区の組織役割、畑作振興、耐震におけるライフライン等の対応、又町職員の声として町長が活かされた事を伺いたい。

【問一】
平成23年6月の町政運営方針では、0予算事業に努める方針を示され、今回は一転定住促進事業に3,100万円の町単独予算を掲げられているがその目的は…

核家族に繋がるのではないかとと思うが？

【答一：町長】
町の人口減少に伴い、定住促進として移住者、在住者を含めて更に固定的に町に住んで頂くため、又若い人達の生活支援等の事業を①持家取得助成事業②新婚家庭家賃助成事業③婚活事業④都市部PR事業の4つの事業に3年間を目標に取り組む。

【答一：総合政策課長】



町政運営方針について

河野 幸夫

【問一】
主財源確保の考えは。

【答一：町長】
収益をあげる様に積極的に検討していきたい。

【問二】
企業誘致の考えは。

【答二：町長】
県と連携して企業を誘致していき、小さな企業も育成していきたい。

【問三】
農漁商工連携して販路拡大の考えは。

【答三：町長】
肥沃で広大な農地を活用した6次産業化や農漁商工連携通じて販路拡大を図る。

【問四】
県は中国、香港に農産物の輸出支援の拠点を新設するとしているが町長の考えは。

【答四：町長】
県と連携して取り組んでいきたい。

【問五】
TPP問題の考えは。

【答五：町長】

人口減少に歯止めをかける政策として、捉えていただきたい。

【問二】
災害に強い町づくりの消防団、行政組織の確立、役割を充実させるのが町行政として最初にやるべきことではないか？

【答二：町長】
消防団の編成、行政組織等のあり方については本年度中に示し改善に努めたい。

【問三】
畑作振興の具体策、耐震(ライフライン)への対応は。

【答三：町長】
口蹄疫からの復興が畜産で60%程であることから町の露地園芸等にも力を注ぎ、又上水道における耐震については、年間2キロ改修し、今後7年間で計画的に整備する。

【問四】
昨年町職員の声を聞かれたと思うが町長が活かされた事は？

【答四：町長】
新婚家庭家賃助成事業への取り組みなど各種事業の推進に「職員の声」を取り入れている。

基本的な考えは反対。

【問六】
健康なまちづくりについての考えは。

【答六：町長】
医商連携、行政と地域、商工会が連動して健康なまちづくりを検討していく。

【問七】
都道府県別2010年の平均寿命では、長野県が男80.88才、女87.18才とともに日本一、宮崎県は男20位、女16位となっている。町は健康を維持していくために、保健指導やボランティアの人材が足りているのか？

【答七：町長】
人材については充実したスタッフをそろえている。

【問八】
教員の指導力の向上についての考えは？

【答八：教育長】
生きる力・確かな学力・健やかな調和のとれた育成を重視、各研究会を通じて教員一人一人の指導力の向上を図る。

【問九】
全国学力テストの結果公表の考えは。

【答九：教育長】
公表は考えていない。

【問十】
いじめ対策の考えは。

【答十：教育長】
学校と定期的にアンケートをとり相談ごとを対応している。

今号で「議会だより」も100号になった。
1号から携われた高尾日出夫氏に発行に至った経緯を紹介していただいた。

「議会だより」 100号発行を祝して

高尾 日出夫

「議会だより」が100号を迎えた。年4回発行だから25年を経過している。年を重ねて内容の充実が図られ、ページも12ページとなっている。

かつて「議会だより」は個々の議員が数名出していたが、昭和58年4月の選挙で新人として多くの議員が当選し、それらの議員が町民と密接に触れ合う議会活動を希求し、その手段として6人会を組織し、「議会だより」の発行により盛んに活動を展開した。

これら議員は杉尾文敏・小玉忠洋・和田稔・児玉博・故長友三男・故川上卓三であった。この動きに触発され議会全体による「議会だより」発行の発端となった。第一号発行は昭和63年7月であった。当時議員は20名。町長は黒木修氏であった。町の一般会計予算規模は45億～50億円。カラー刷りではなく青色一色の印刷で表紙は町中心部の航空写真。題字は通浜の書家石井琴月氏に依頼した。

発行にあたり黒木論議長(故人)は「住民サイ

ドの編集姿勢で多くの町民から愛読され、町民が町政に対する認識の高揚と町政参加の実が向上するなら、これに増す喜びは無い」と述べ、「議会だより」発行へ期待した。編集委員は副議長・各委員会から1名あて委員を選出した。第1号から4号までの編集員は高尾日出夫・大木松男・杉尾守美・長友三夫・小玉忠洋であった。「議会だより」という性格上、記事の誤りや短い文章表現となるので議員や、執行部側の意向に沿った内容が腐心したが、これは今の編集者においても変わる事はないであろう。しかし議会のあり様を反復する事になり充実した編集会議であった。

読む側の町民の反応も、議会傍聴の姿勢、行政に対する問題意識の厳しさなど議会認識の高揚につながったと思う。

川南町では口蹄疫被害からの復興、新しい時代の要請に応じて、25年前とは比較にならない程、経済も民生も教育も複雑多様な課題を抱いての議会活動が求められ、成果が求められている。議員、執行部側の高度な状況認識と判断、識見が必要である。「議会だより」を介して町民との更なる共感、共同による町勢の発展に期待して

編 集 後 記

青葉しげる今日、町では行政改革が進められていますが、議会でも改革に取り組みこの5月から常任委員会が3つから2つになるなど新たな構成でのスタートになります。

口蹄疫から3年経つ中、畜産の復興は道半ばであるが、あの時の防除・消毒などの町民各団体の支援が思い出され、町の底力を感じたものです。

皆さんのこうした力を町議会の広報紙に今後も活かしていきますので、ご意見をお寄せ下さい。(竹本 修)



- 編集委員長 竹本 修
- 副委員長 徳弘美津子
- 委員 濱本 義則
- 委員 米山 知子
- 委員 税田 榮
- 委員 川上 昇

表紙写真の紹介



60周年記念式典



屋根付多目的運動場の落成式
で行われた小久保裕紀氏の野球教室



記念公演
激奏 津軽三味線

編集・発行 宮崎県川南町議会

〒889-1301
宮崎県児湯郡川南町大字川南13680-1
TEL (0983) 27-8017

発行者：川南町議会議長
編集者：議会広報編集特別委員会
印刷所：(有)アックプリント